

備前市事務事業評価表

事務事業名	急傾斜地崩壊対策事業	コード	01-03-01-07
		担当課・係	都市整備課 管理係
		担当者	岸本豊弘
事業実施期間	昭和44年度～	電話	64-1833
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目(基本施策)	災害に強いまちづくり	
	小項目(施策)	河川改修・砂防施設整備	

事業について	
目的 (何のために)	急傾斜地崩壊危険区域の整備
対象 (誰・何を対象に)	市 急傾斜地崩壊危険区域住民
内容	急傾斜地崩壊危険区域の整備に係る市負担金の支払事務及び危険区域の整備要望

事業の結果			
実施項目	17年度	18年度	
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
危険指定箇所	46 箇所	9 箇所	
17年度整備箇所	7 箇所	1 箇所	
整備完了箇所	45 箇所	5 箇所	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等
	人件費	受益者負担	人件費	受益者負担	人件費	受益者負担	人件費	受益者負担
	合計	一般財源等	合計	一般財源等	合計	一般財源等	合計	一般財源等
	10,242	10,242	8,625	8,625	0	0	0	0

必要人員	0.11 人	0.28 人	
結果指標名	整備箇所	整備箇所	
結果指標量	7	1	
単位	箇所	箇所	
対前年比	-	14.29%	0.00%
活動にかかるコスト	10,242,000 円	7,998,000 円	
単位当たりコスト①	1,463,142 円	7,998,000 円	
結果指標名			
結果指標量			
単位			
対前年比	-		
活動にかかるコスト			
単位当たりコスト②			

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	安全に暮らせるまちづくり		
成果指標名	整備率	式又は説明	整備完了箇所数/危険指定箇所
	17年度	18年度	
成果指標量	98	56	
対前年比	-	57.24%	0.00%
到達目標値	100	到達目標年度	平成18年度

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：	妥当性評価<A~E> B 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	危険箇所を調査し住民に周知することなどにより災害防止対策になる。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大きい		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> B 課題認識
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	県が発注施工し市はその負担金を支払っているが財政面からも今後は受益者負担金について考えていく必要もある。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	平成18年度で指定危険箇所の整備は一応完了する予定である。平成19年度以降についても危険箇所の指定を受けられるよう要望していく必要がある。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成19年度状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値 結果指標量① 整備率 結果指標量② 成果指標量 1	危険区域未指定地については、採択要件や近年の異常気象等を考慮し、土砂災害等の対応を行っていく。	

総合評価	危険区域指定地はほとんどが整備されているが、近年の異常気象等により局地的な降雨などによる土砂災害が多発しており、危険区域未指定地については、新たに区域指定を受け整備する必要がある。	評価区分 <A~E> B
------	--------------------------------------------------------------------------------------------	--------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	危険区域未指定地の指定の要望		